4 正当な戦争?

国連平和協定

有史以来、人間はこの道徳的問題と共に生きてきた。宗教や法が､殺人は過ちで罰せられるべきものとする一方で、支配者たちは人民に何らかの理由のために他者を攻撃、あるいは自分自身や自分が守るべきだと感じる者を守るために、戦争に赴き戦うように命じてきたのだ。

この矛盾を打開する方法の一つとして人々は、神また正義や正当性が自分の側にあると自身を納得させ、そのことにより敵を殺す事が正当化された。この事の問題性は、大抵どちらの側も同じ主張をするという点である。また、ほとんどの宗教が、神が善と悪のどちらかを選択する自由意思を人間に与えていると説いているため、私たち各人は、敵対する側の人間の命を奪うことが正しいことなのか、あるいは間違った決着のつけ方なのか、そして他に解決する方法があるのではないかと考える必要に迫られている。

この問題点を解決するために、数々の策が講じられてきた。ここに、戦争と平和に関する三つの見解がある。

A 正当な戦争

以前から多くの人々の間で､正当化されうる戦争もあると思われてきた。しかし、そのような人たちも、それが特定の状況下でのみの事であると主張してきた。例を挙げれば、外部の勢力により領土が不当に奪い取られた時や、支配権力側が人民を監禁したり搾取したりするなどして害を及ぼす時、または何らかの力により大衆の安全が脅かされる時などである。

正当な戦争という概念は、別の判断基準も含んでいる。戦争は最後の手段として使われなければならず、最初に使われる手段となってはならないこと、弱点につけこむものであってはならないこと、一般市民が害を被るべきではないこと、そして問題が解決され次第、すぐに戦闘をやめることなどである。

B 平和主義

一般的に、どのような事情があろうとも、戦争や暴力による解決は誤りだとされている。それは、自分の友人や仲間を殺すことが当然誤りであり、暴力での報復は更なる暴力を生み出すに過ぎないということも示している。その一方で、侵略や制圧に対抗する非暴力的な解決法もある。ストライキやボイコット、平和デモ、国際的圧力の動向や、市民運動がそれに当てはまる。

これらの解決法を目標に掲げてきた指導者達のうち、最も広く知られているのが、マハトマ・ガンディーとマーティン・ルーサー・キング Jr.である。ガンディーは市民運動やボイコット、ストライキを行なうことにより、インドをイギリスの植民地支配から独立へと導いた。マーティン・ルーサー王 Jr.はボイコットやデモを計画、実行することで、アメリカでのアフリカ系アメリカ人の市民権獲得に大きく貢献したのである。

C 戦争抑止

第三の論点は安全保障により、平和が維持された、冷戦時の緊迫した状態である。強大な兵力を保有することにより安全が保障される、ということだ。仮にあなたに圧倒的な攻撃力があるとしよう。すると、相手は決してあなたを攻撃しないだろう。これが、戦争抑止と呼ばれるものである。

現代科学が引き起こす重要な問題

科学の進歩は新たな武器開発に利用され、現代の戦争は、より破壊的かつ命がけのものとなっている。今日戦争に用いられる武器は、もはや弓や矢ではなく、長距離爆撃機やミサイル、地雷、核兵器、化学兵器や生物兵器である。これらの武器は軍隊と一般市民をターゲットとして区別することができない。つまり、戦争の標的となるのは全住民なのである。

第二次世界大戦での死者数は約6000万人にも上るとされている。このうち、犠牲となった一般市民の数は兵士のそれをはるかに上回るのである。戦争終結までに核物質は核爆弾としてその姿を現代に現した。核兵器の出現は、人類のみならず、自然までも破滅に追いやってしまうのだ。

活動

1 あなたは裏ページの意見のいずれかに同意しますか？平和はあなたにとってどんな意味を持っていますか？筆記もしくは学級討論で説得力のある議論をしなさい。

2 次のうちから一つ選びなさい。a)家で雑用について言い争う子供たち、b)喧嘩している猫、c)終わった仕事の金について言い争う大人、d)遅くまで外出していることについて言い争う若者と親、e)戦う国々。
この争いのうちの一つについて短い脚本をかき、相手とそれを実演しなさい。表現に類似点はありましたか？次に「和解させる」仲裁人とともに最後の場面を付け加えて、相手とこれを実演しなさい。仲裁者が和解させたのは、どんな具合だったか慎重に書き留めなさい。

3 なぜ国家は武装を解除したくないのでしょうか？彼らに何が起こるのでしょうか？とても小さな軍隊を持っている国もあります。武装せずに攻撃をかわす方法はありますか？二人一組になって、これを成し遂げる方法を少なくとも三つ提案しなさい。軍事力の別のあり方と、国連のような組織の役割について考えなさい。

4 あなたが知っている、今現在起こっている全ての戦争の一覧表を作りなさい。何がその原因となったのか説明しなさい。「正当な戦争」についての議論に基づくと、これらのなかで「正当な戦争」に適合するものはありますか？

5 あなた自身の人生における争いについて考え、その争いを相手に説明しなさい。きっとあなたの相手は仲裁者となり、どうすれば争いを回避、もしくは解決させられたかを示してくれるはずです。提案された解決策と、なぜ、その解決策は作用していた、もしくは作用していなかったとあなたが考えているかを論議しなさい。論議中、記録をとり、その後、論議を振り返り、記録にざっと目を通しなさい。論議中にどんな感情および、あるいは振る舞いが生じましたか？あなたが見つけたことをクラスの人たちに口頭発表し、あなたが戦いを避けることができるかもしれない行動と反応を提案できるかどうかを検討しなさい。

国連ぶっちゃけ資料：
国連平和協定

1992年6月、国連事務総長は1990年代以降の世界の平和を確保することにおける国連と国際社会の役割を一般に明らかにする平和協定を公表した。この報告書（議事録）は冷戦終結に伴って国連がより大きな役割を果たすよう求める世界の要求に応えたものである。集団安全保障という新たな時代が発展していくことが望まれている。平和協定には4つの主要な信条がある。

- 予防的外交とは、集団の間で争議が起こるのを防ぐこと、現存する争議が衝突に拡大するのを防ぐこと、そして衝突が起こったときに、その拡大を制限することである。
- 紛争調停とは、敵対する集団を和解に導く活動であり、本来は交渉や制裁のような平和的手段による。
- 平和維持とは、戦地における国連の展開であり、今のところは関係当事者全ての同意が必要である。通常、国連軍や警察の職員を含み、民間人もしばしば登録される。
- 平和構築とは、衝突の再発を回避するために、平和の強化と定着へとつながる組織（体系）と提携し、支援する活動である。

予防的外交とは衝突が起こる前に争議を解決することである。調停と平和維持には、戦闘を停止させ、達成された平和を維持していくことが求められる。うまくいけば、それによって戦後の平和構築の機会が生かされ、国家や民族間における衝突の再発を防ぐことができる。

資料のDとEを参照

問題提起およびコメント

我々がここに提起する問題は、「正当な戦争はあるか、ないか？」である。

我々四人による討論において、「いかなる理由があるにせよ、戦争は人殺しである。人殺しは人道的ではない。ガンディーの非暴力・不服従運動の例のように、平和的解決もできるのではないか？ 」という意見と、「平和的解決はあくまで理想的な解決のひとつで、実際にその方法で解決された例はごくごく限られた数しかなく、現実性に欠けている。不当な圧力、不正な侵害状況から自らを解放するため、あるいは必要最低限の人間としての権利を獲得するための戦争であれば正当化されうるのではないか。」という意見が出された。

ここで、我々は現在進行中のイラク戦争における侵略、戦闘行為の正当性について概観してみることにした。一般論ではイラク戦争に正当性はないとされているが、米国側は、「イラクは化学兵器を自国民に使用し、生物兵器も持ち、核兵器の取得を目指している。これが危険な独裁者の手に握られ、テロ組織の手に渡る可能性があることは米国の安全保障にとって脅威だ。テロ攻撃された米国には、この脅威を未然に防ぐ権利がある」とイラク戦争における正当性を主張している。それとは逆にイラク側が米国を攻撃することについて、正当性を主張する意見もある。現代国際法では戦争や武力行使は違法とされているが故に、イラクについて言えば、旧政権の残存勢力あるいはイラク人民は、違法な占領者たる米英軍に対して攻撃・抵抗する正当な権利を有する。つまり、大規模な戦闘は終結したとしても、イラクにおける米英軍による占領行為は、イラク人民等にとって「急迫不正の侵害状況」に該当する、ということだ。もっとも、この権利があるからと言って、国際人道法等を侵す行為が許されない事はいうまでもない。ただ、イラクで「急迫不正の侵害状況」が成立していると考えられる以上、実際のさまざまなテロや戦闘行為については、「正当防衛」の権利行使に当たるのか否か、また権利行使に当たるとしても、国際人道法を犯すか否かが問われることになる。そのような検証をしてみるなら、「無差別テロ」と思っていた事件が、実は「正当防衛」に相当し「容認」されるべきものもあるかもしれない。ここでは、可能性として指摘しておきたい。

一方、依然有力、かつ説得力を持つ意見はやはりイラク戦争における米軍の戦闘行為の正当性を否定する意見である。「大量破壊兵器の存在が確実でないうちに武力行使を開始した。さらに、フセイン政権やバース党がどれだけ非民主的、そして独裁政権であったとしても、それを理由に他国を侵略することは絶対許されないだろう。米英の対イラク攻撃はどうみても自衛権の行使でもない。大量破壊兵器を保有しているのは、むしろ米国を主体とした多国籍軍である。」と主張し、正当性はないと指摘する意見も多い。これが先に挙げた急迫不正の侵害状況での戦闘行為の正当性につながるのだが…。

では、イラク戦争における非暴力的、平和的解決法はとして考えられるものをいくつか具体的に列挙する。

- アラブ世界の声に耳を傾けること：世界規模での民主主義
- 各国メディアが中立的、客観的な報道をすること
- 米国における自由な民主主義的選挙による政権交代 （ブッシュ米大統領の弾劾）
- EU や他の政治組織が仲介役としての主導権を発揮すること
- 中東地域のための新しい安全保障体制の確立

さて、皆様はどのようにお考えになられるか？

参照 Web サイト：

http://www.unic.or.jp/

http://www.hyogo-kokyoso.com/infobox/messages/154.shtml

http://eritokyo.jp/war-env/newyearcolum6.html

http://www.supri.jp/html/030127-03.html

文責： 密本洋海、森野諭、三浦隆博、中田和宏